

環境教育ツール としての農村GO

岐阜大学自然科学技術研究科1年

大塚健太郎，浅野珠里

農村GOのコンセプト

都市



農村地域へ行きたい
でも農村の情報はなかなか手に入らない

都市の人が新鮮に思う景色は当たり前
農村の魅力に気づかない

農村



地方大学



農村での経験価値を高め、経済効果をもたらしたい
農村の隠れた魅力を探して発信

実世界での移動を題材とした位置情報ゲーム
農村GO

今年度の活動

- 岐阜大学版農村GOゲームの試用
実際に遊んでもらい問題点を抽出



- 現地調査, 隠れた魅力の発見
岐阜県本巣市を調査



- 小牧市民まつりでの活用
水の流れに関するイベントを開催

- 環境教育向けに農村GOを改良



小牧市民まつりに参加

小牧市民まつりとは

「ふれあいの輪をひろげよう」をテーマに開催される、小牧市最大の市民総参加のおまつり。

「小牧山」「市民会館」「駅前」の各会場で行われる。



「木津用水まつり」と題し、ポスター（身近な水の流れ、なぜ水は流れるか）、サイフォン実験、農村GOの体験、の展示を行った。農村GOでは、身近な水の流れを探索し、水や水路の役割を考察する、という体験を提供した。

農村GOの体験

- 足跡マークをタップすると、画像のようなカードを見ることができる
- カードの写真とアプリの位置情報を頼りにチェックポイントまで行き、カードと同じ写真を撮ってもらう
- ブースに戻ってきたら答え合わせ&景品ゲット

農村GOゲームで水路をまわろう

まずはゲームを始める準備をしよう
右のQRコードを読み取ってアカウントを作成しよう
<https://nouson-go.sakura.ne.jp>
アカウント名、パスワードは英数字小文字

ゲームの進め方

1. 地図上にありあしあとマークをタップすると、たよりに水路の位置情報と写真が確認できる
2. 水路に近づくと、チェックポイントまで行き、水路の写真も撮ってもらう
3. トランプをくわすと、赤くなるよ5つの水路をす

5つの水路をす
最初は000で
(000のト

木津用水まつり～水を使
水循環研究プロジェクト

No.2

大きな水路の横に小さな水路がくっついている...?
この2つの水路はどのように分類されるのだろうか。
水路の反対側から見たら何か分かるかもしれない。
No.3に行ってみよう。

市民会館周辺の噴水，川，排水路の3地点，10分程度のコース

アンケート内容

回答者 = 19

回答者のプロフィール

Q1. 性別	男性 女性
Q2. 年齢	小学生 中高生 20-50代 60歳以上
Q3. 同行者	ひとり 家族と（小学生の子供と） 友達と
Q4. 出身	小牧市 小牧市以外：

農村GOについて

Q5. 体験のきっかけ（複数選択可）	地域の水への興味 ゲーム体験 ポスター展示 ゲーム名称
Q6 ゲームとして楽しかったか	面白かった どちらでもない 面白くなかった
Q7 小学生の教育ツールとして役に立つか	役に立つ どちらでもない 役に立たない
Q8 今後、同様の体験イベントがあれば、 また参加したいか	参加したい どちらでもない 参加したくない

水環境への意識について

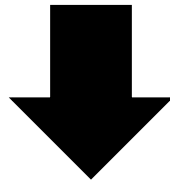
Q9 農村GOで行った場所は以前から知っていたか	全て知っていた 一部知っていた 全て知らなかった
Q11 以前から知っていた流れる水の役割を 意識していたか（Q10で「全て知っていた」「一部知っていた」と回答した 10人を対象）	意識していた 一部意識していた 意識したことがなかった
Q10 農村GOの体験により地域に流れる水 の役割に対する意識に変化があったか	大きく変化した 変化した 変化はなかった

アンケート結果



参加者は子連れの家族が多かった

- 参加者へのアンケートの結果
- ・ゲームとして面白かった
 - ・小学生の教育ツールとして役に立ちそう
 - ・農村GOを体験したことで、地域に流れる水の役割に対する意識に変化があったなどの回答を得た。



環境教育ツールとして活用できるのではないか

農村GOの改良

環境教育ツールとしての利用価値を高めるために、農村GOの改良を行った。

社会科見学での水利施設の見学を想定

改良版は3月中旬に公開予定



イベントごとに複数の水利施設をリスト化し、獲得した合計ポイントを公開



同一施設で複数の情報をそれぞれカード化獲得にランダム性を持たせ、繰り返し同一施設を再訪させる仕組みを導入

- ・ 試作版農村GOを学外のイベントで体験してもらうことで、環境教育ツールとしての活路が見出された。
- ・ 環境教育ツールとしての利用価値を高めることができるように、農村GOを改良した。

今後は現地調査を継続すると共に、農村GOの改良を進め、学外での活用実績を増やしたい。